

事務事業名	美術活動推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	1 終了		
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名 美術博物館				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	27	文化芸術の振興					
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 美術創作活動を通して、豊かな発想と想像力を育てる				圏域の3年生以上の児童数(人)	6068	
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	子ども美術学校に参加した児童数(人)		109	112	90	83	
	成果指標	作品展の展示点数		800	811	540	407	
定性目標								
事業概要	小学校3年～6年生の児童を対象に「子ども美術学校」を開催し、さまざまな造形体験を通して創造の楽しさにふれる機会を提供する。また制作を通して、自分を豊かに表現する能力を身につける。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 子ども美術学校 年8回 30人学級 3クラス			1 授業開催数		1 24回		
	2 子ども美術学校作品展を市民ギャラリーで開催			2 展示作品数		2 407点		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	1,371	1,397	1,273	0	(そ)美術博物館講座受講者負担金			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他	112	105	83					
一般財源	1,259	1,292	1,190					
人件費計(千円)②	0	0	0	0				
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	1,371	1,397	1,273	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	指導の担当者が代わり初年度ということでクラス数を4クラスから3クラスに減らして実施した。活動の内容も担当者の交代により内容を変更し、作品展も昨年とは違うものとなったが、子どもの自由な表現・創造という本事業の目的は達成できた。平成26年度から材料費を徴収している。							
改革改善の考え方	①問題点	他部門の講座とのスケジュールの関係もあり4クラスを確保することが難しい。またクラスの定員も28名程度が限界である。						
	②改革提案	3クラスで84名程度の募集とする。						